

事務局だより

会議報告

平成29年4月1日より9月30日まで

◆第16回理事会

月日：平成29年6月7日
場所：主たる事務所
出席：理事・監事

決議事項…

- ① 自平成28年4月1日至平成29年3月31日 事業報告の件
- ② 自平成28年4月1日至平成29年3月31日 決算の件
- ③ 定時評議員会の開催・招集の件
- ④ 顧問の選任の件
- ⑤ 紘の森に伝承される古文化財等の継承助成事業準備資金の積立額等の変更の件

報告事項…

- ① 役員退任の報告
- ② 役員選任の報告
- ③ 理事長および専務理事の職務執行の報告
- ④ 会員数の報告

◆第9回評議員会

月日：平成29年6月22日

場所：主たる事務所
出席：評議員

報告事項…

- ① 理事及び評議員の退任の件
- ② 自平成28年4月1日至平成29年3月31日 事業報告について

決議事項…

- ① 自平成28年4月1日至平成29年3月31日 決算について

- ② 評議員の選任の件
- ③ 理事及び監事の選任の件

会員数報告(平成29年9月5日現在)

賛助会員	86件
団体・法人会員	74件
個人会員	1,174名
合計	1,334件

新役員紹介

6月の評議員会にて、第5期の理事として重任20名新任2名計22名、第3期の監事として重任2名、第3期の評議員として重任14名新任2名計16名がそれぞれ選任されました。

- ・新任理事 永田 宣彦氏
(株式会社京都新聞社 代表取締役社長)
- ・顧問 山口 悟郎氏
(京セラ株式会社 代表取締役会長)
- ・新任評議員 塩山 等氏
(叡山電鉄株式会社 取締役社長)
- ・顧問 白波瀬 誠氏
(京都中央信用金庫 理事長)

名簿は財団ホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

新入会員ご誘致のお願い

多くの方に世界遺産紘の森の保存にご理解ご協力をいただきたく願っております。新入会員のご誘致をよろしくお願いいたします。ご連絡いただければ「入会案内パンフレット」をお届けいたします。

ご寄付のお願い

平成28年度も多くのご寄附をいただき、紘の森の整備・神社建造物の修復を実施することができました。ありがとうございました。平成29年度も引き続きましてご支援をよろしくお願いいたします。同封の振込用紙をご利用ください。

ニュース

寄附金に税額控除制度が適用されます

当財団は平成29年8月10日付で内閣府より税額控除に係る証明書を取得いたしました。これにより、個人の当財団への寄附金・会費について、領収書及び税額控除に係る証明書を添付の上、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下の算式により算出された額が所得税額から控除されます。



$$\text{算式} \quad \text{寄附金特別控除額} = \left[\text{その年中に支払った公益社団法人等に対する寄附金の額の合計額} - 2,000\text{円} \right] \times 40\%$$

※1 「その年中に支払った公益社団法人等に対する寄附金の額の合計額」については、その年分の総所得金額等の40%相当額を限度とされます。
※2 寄附金特別控除額は、所得税額の25%相当額が限度となります。

下鴨神社だより

行事日程

- 平成29年下半期行事
 - 10月15日 えと祈願祭 (午前10時)
 - 12月12日 お菜酒神事 (午後1時半)
- 平成30年上半期行事
 - 1月1日 歳旦祭 (午前6時)
 - 1月4日 蹴鞠初め (午後1時半)
 - 1月6日 初えと祭 (午前11時)
 - 1月7日 成人祭 (午後1時半)
 - 2月3日 節分祭 (午前10時)
 - 3月3日 雛流し (午前10時半)

紘の森

題字
賀茂御祖神社
新木直人宮司

編集・発行

公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内紘の森保存会事務局

〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010

www.tadasunomori.or.jp

Vol.16

紘の森財団会報

平成29年10月1日発行
通号64号

紘の森



紘の森ぶらりぶらり 第15回
紘の森の「範囲」を考える
紘の森NEWS / 催事案内

表紙写真 / 井上隆雄

糺の森財団

特別顧問 中村 邦夫
(パナソニック株式会社相談役)



平素は糺の森財団に変わらぬご支援をいただき誠にありがとうございます。この度、当財団の行ってきた長年の活動が、京都の魅力や品格の向上に貢献しているとの評価され、今年度の「京都創造者賞」を受賞いたしました。これもひとえに皆様のご協力の賜物であり、重ねて御礼を申し上げる次第です。

この受賞が、祭祀を通じて古代より受け継がれてきた伝統や、多様な生物が息づく原生樹林糺の森の保全活動を多くの人々が知る契機となり、正しい理念を共有し、守り伝えようと思う心が育まれていくことを願っております。

世の移り変わりが激しい昨今、たとえ努力を怠らなかつたとしても、古いカタチばかりを踏襲して革新的な方法を否としていては、長い歴史も過去の遺物として取り残される懸念があります。文化財も森も、人に大切にされ、愛され続けることでその価値が磨かれ、生きてくるのです。そのため私たちには、糺の森の素晴らしさを世界中に発信、普及するにあたり、日々新しい考えを生み出していく創造力が求められています。

伝統を後世に伝えるには、人々が志を一つにして、力を合わせることが不可欠です。この会報をお読みになられた皆様には、後の世代にも糺の森を愛していただけるよう、一人でも多くの方に森のことをお話しただければ幸いです。当財団は、貴重な文化遺産糺の森が永遠に生き続けるため、努力を惜しまず活動に邁進致しますので、会員各位におかれましても、益々のご協力をお願い申し上げます。

糺の森の「範囲」を考える

京都市歴史資料館長・
京都産業大学名誉教授

井上 満郎

変なタイトルで申しわけないのですが、以前から気になり続けていることを申します。

モリという日本語は「盛る」からきていて、樹木が茂って盛りあがっている場所をいいます。そしてその多くは社叢、神のいます神聖な地として崇められていました。『万葉集』などに、「社」と書いてしばしば「モリ」と読ませるのがそれをよく物語っています。糺の森もそうしたモリの一つでした。

「糺」の語源はよく分かっていませんが、ここで神判が行なわれたか



糺の森

ぶらりぶらり

第十五回



参道沿いの倒木

境内の樹木を調査したところ、立ち枯れや、参道や隣地へ倒れる危険がある樹木が100本以上確認されました。これまでも参道沿いで木が倒れた事があったため、このたび

境内樹木整備

下鴨神社の飛び地境内であり、平成27年に国の史跡に追加指定された御蔭神社境内の保存整備事業を実施しております。

助成対象事業 史跡御蔭神社境内保存整備事業

たため、このたび参拝者や近隣への安全対策として、対象木の伐採や枝打ち作業を行ってまいります。崩落が懸念されている参道沿い土砂の保護整備とも関連するので多年度にわたりますが、安全に留意して進めてまいります。



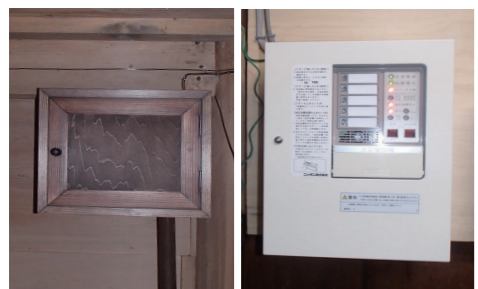
石垣調査の様子

石垣保存整備

本殿近くにある石垣が、経年による土の流出や木の根の圧力により、将来崩落する恐れがあるので、石の積直し等の整備に先立つ事前調査を行いました。整備の詳細については、引き続き京都府や京都市、学術顧問と協議を行う予定です。

社殿防災設備工事

御蔭神社の東本殿、西本殿および割拝殿に火災が発生した際、本社に通報される自動火災報知設備が取り付けられました。これにより、既に導入した侵入者対策の防犯設備と合わせて、社殿を守る設備が整いました。



自火報設備取付け

糺の森 NEWS

発行所 公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会事務局
www.tadasunomori.or.jp

らだという説があります。神の鎮まる聖なるモリで裁判が持たれたのでして、注意したいのは、たとえ裁かれる罪人であるとしても、人がモリという神域に立ち入っていたことです。今は禁足地として強く立ち入りませんが、歴史のうえから言いますと、程度の差はありますが社叢は人が立ち入る、すなわち人とともにあった場所なのです。現在の糺の森のありようは、人と森が共生する、モリの本来の特徴をよく伝えていきます。そこで本題ですが、平安時代の半ばごろに制定された『延喜式』という、法令実施のためのマニュアル書があります。そこに
およそ鴨御祖社南辺は四至の外に在るといへども、濫僧・屠者ら居住することを得ず。
とあります。濫僧は正規の出家を経ない僧侶、屠者は種々の理由で動物の解体にあたる人々をいいます。社会からはみだした階層と認識された彼らは、ともに神社の清浄を破壊し、境内の外側ではあるものの聖域をけがすとされて、住むことを禁じられたのです。

ですがこれは、彼らの「居住」がごく一般的にあったからこそその禁止令ですし、そうでなければあらためてこうした法令を發布する必要はなかったでしょう。国家・政府からいえばたしかに清浄を乱すことだったでしょうが、そこに暮らす人々からすれば当然の生活の姿でした。
糺の森が下鴨神社の神域・境内であったことは論を待たないですから、この「南辺」は森の南の地、ということになります。おそらく賀茂川・高野川の合流点までの間の場所だったと思いますが、そこは社会からはみでた、かたぐいえば疎外された人々をも温かく受けいれる、豊かで寛容な機能を持っていたのです。境内ではないですが、しかし鴨神の庇護の及ぶ隣接地、そういう認識だったのではないのでしょうか。糺の森の南には、虐げられた人々をも受け入れる空間が広がっていたのです。モリという神社の「範囲」の内側だけで、鴨神の霊験がけっしてとどまるものではなかったことを見逃してはならないと思います。



京都創造者大賞2017 「京都創造者賞」受賞

1200年の歴史に培われた豊かな文化、四季折々の美しい自然。京都には、守るべきものを守りながら、創造性に溢れた活動を続け、京都ブランドのイメージアップや京都の都市格向上への貢献はもとより、未来の京都へと引き継いでいくべき活動が多くあります。こうした活動の担い手をオール京都により顕彰し、広く発信するのが「京都創造者大賞」(主催:京都創造者大賞顕彰委員会)です。11回目になる今年度は、「京都創造者大賞」が1点、「京都創造者賞」が3点選出され、当財団の活動「糺の森の保存整備活動や祭典・式年遷宮・流鏝馬など千年の伝統祭事等の保存事業助成」が「京都創造者賞」に選ばれました。
当財団の活動が認められたことを喜ぶとともに、会員様はじめ皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。授賞式は9月15日(金)京都市内で開催され、当財団理事の吉田博宣氏(京都大学名誉教授)が出席し、賞状並びに副賞を受賞いたしました。



http://www.kyo.or.jp/brand/

世界遺産糺の森文化講演会 開催

平成29年 8月10日(木)
於：下鴨神社参集殿



好評につき、第4回目の登場となる小説家の夢枕獭氏を今年もお迎えしました。
今回も早くから多くの方からお申込みをいただき、千葉・長野・愛知そして四国と幅広い地域からも参加があり、講師の人氣をうかがい知ることができました。
今回の講演は「蟬丸―百鬼夜行の街2017」と題して、盲目の琵琶の名人蟬丸が美しい月の出を聴き琵琶を弾くくだりや、その演奏を永年待ちわびた管絃の名人源博雅との交流を始め、縄文から平安までの不思議な物語を聞かせていただきました。

第27回蛍火の茶会と糺の森納涼市

裏千家淡交会様はじめ多くの皆さまのご奉仕により、今年も「蛍火の茶会」を6月10日(土)に開催いたしました。境内の細殿・橋殿に設けたお茶席には、財団会員などの招待客約750名の方が参席。また舞殿および神服殿では雅楽や箏曲の演奏、雅楽舞・王朝舞の実演、そして夕暮れ時から森の中での蛍の舞いを約4,000名の観光客が楽しめました。
同時に楼門前表参道にて開催された「糺の森納涼市」は、京の有名老舗など15店の出店があり、多くの買い物客で賑わいました。



- 今年も多くの皆様にご奉仕ご協力をいただきました。感謝申し上げます。
- 〈お茶席・点心席奉納〉
裏千家前家元 千玄室様
〈お茶席奉仕〉
淡交会京都南支部様
〈点心席奉仕〉
本家尾張屋様
〈箏曲奉仕〉
錦綾子社中様
〈雅楽演奏・王朝舞奉仕〉
下鴨古楽会様
 - 〈ご協力〉(敬称略・五十音順)
●(株)織部設備工業
●岸野電気
●松風園
●(株)西村工務店
●(有)林屋電気商会
●(株)藤田造園
●(株)ワコールホールディングス

下鴨神社 京都学問所だより

鴨社資料館秀穂舎では、七月八日から九月三十日まで、「碧い眼の神道学者・ボンソンビ博士展」を開催しました。

リチャード・ボンソンビリフューンは、一八七八年、英国倫敦の郊外で、貴族の系統の家系の長男として生まれました。幼いころから、身体が弱く、長い闘病生活を余儀なくされましたが克服し、この間に学んだ学問が人生の糧となったとされています。十九歳から英国領の総督私設秘書官として世界を廻ります。一九〇一年(明治三十四)に初来日を果たし、日本の歴史や文化に感銘を受け、皇室と神道に日本の本質を見出しました。これ以降、皇室史や神道・神社史の研究を究め、一九一九年(大正八)に東京へ移住、一九二四(大正十三)には京都に移り住みました。日本を理解するためには、言語だけでなく、生活習慣や心の中までも日本人になりきることが必要であるとし、常に和服姿で、食事は日本食という生活でした。また、自ら考案した「本尊美利茶道」と名乗り、様々な論文を国内外で発表し、日本人以上に日本を理解する外国人研究者と評されました。

下鴨神社との関係も深く、昭和九年(一九三四)には、下鴨神社研究の集大成である『鴨御祖神社御記』を刊行し、第一冊目を昭和天皇に献上しました。

十月からは、『糺の森』の表紙の写真を撮られていました写真家の井上隆雄先生の写真展を開催します。井上先生は当学問所の常任理事を務められ、秀穂舎の完成を楽しみにされておられましたが、残念ながら昨年七月にご逝去されました。長年、撮影されました糺の森の写真を中心に展示させていただきます。



催事案内

遊び、学ぶ、糺の森のつどいあれこれ

“秋の”糺の森コンサート「音の森」

日時：10月14日(土) 午後1時半～3時半

11月11日(土) 午後2時～3時

場所：河合神社(糺の森南側)拜殿

参加：無料(自由)

※爽やかな季節に森に音楽が響きます。気軽にお越しください。



糺の森文化講演会<秋講座>

月日：12月上旬

場所：下鴨神社 参集殿(予定)

参加：無料

詳細はホームページをご覧ください。

糺の森財団 www.tadasunomori.or.jp

下鴨神社 www.shimogamo-jinja.or.jp

お問い合わせは糺の森財団事務局まで ☎075-781-0010

第27回糺の森市民植樹祭 ～未来の糺の森のために～

4月29日(土)の昭和の日に開催。当日は約300名の参加で、糺の森後継樹のムク・エノキ・カツラ・ケヤキ・モミジの樹齢2～3年の苗木500本を植樹いたしました。また成木の献木は日本(モミジ4本・ケヤキ2本・カツラ2本・ムク3本)をいただき、献木の皆さまに植樹をしていただきました。

式典では千理事長様、新木宮司様からご挨拶、山田京都府知事様からご祝辞、そして植樹にあたり学術顧問(代理)の近畿大学非常勤講師の田端敬三様からレクチャーをいただきました。運営にあたりましては、藤田造園様より苗木500本をご寄贈いただき、また林屋電気商会様・藤田造園様には設営等にご支援ご協力をいただきました。ご参加、ご協力いただいた皆様にご感謝申し上げます。

- 〈成木献木者〉
(五十音順)
- 石田久栄様
 - 株式会社 伊藤園様
 - 大竹康友様
 - 尾形文子様
 - 京都琴台イオンズクラブ様
 - 久乗 哲様
 - 高崎秀夫様 (2本)
 - 手島千恵子様
 - 足田 聡様
 - 水野千早様



春の糺の森コンサート 「音の森」開催

4月は「SHOKI SAI Saxophone Quartet」ソプラノ・アルト・テナー・バリトンのサクスカルテット。5月は「ジャズトリオコンサート」ピアノ・ベース・アルトサククスで映画音楽などを演奏。6月は「Jung Ravi (ジャンラビ)」でバイオリンと12弦ギターによる北欧音楽のコンサート。春から初夏の森の中は楽しい音楽で満たされていきました。秋のコンサートもご期待ください。

